

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和6年12月2日(15:00~16:00) 令和6年12月9日(15:00~16:00)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー 中尾、濱田、廣井、棚田、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、武田、田中、本綱、中村、小俣、川本、坂本、栄田、原谷、今井

## ◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	7人	13人			20人

## 前回の改善計画

- ・伝達ノートを職員用、1階・2階・3階利用者用と分けて、職員が内容を把握しやすいように細分化し、情報の共有や支援の取組みがきちんと行えるように志す。

## 前回の改善計画に対する取組み結果

- ・伝達ノートを職員用・各階用と細かく分ける事で、内容が見やすくなり理解しやすくなった。  
入所後、1週間ないし10日以内に担当職員を中心にカンファレンスを行う事で、利用者のニーズなどが共有しやすくなった。

## ◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5人	14人	1人		20人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3人	16人	1人		20人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができるですか?	4人	15人	1人		20人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4人	14人	2人		20人

## できている点

- ・伝達ノートを細分化する事でより情報をわかりやすく共有するすることが出来ている。
- ・入所後、カンファレンスを行う事で利用者のニーズに添ったケアを行う事が出来ている。

## できていない点

- ・伝達ノートを細分化する事で逆にわかりにくい事がある。伝達事項の記入漏れや、既読しても忘れてしまったり上手く情報を活用できていないことがある。

## 次回までの具体的な改善計画

- ・伝達ノートの細分化は、一定の効果があると思われる所以継続して取り組んでいく。その中で、既読漏れを防止するために閲覧チェックの仕方や重要な点に赤線をつけるなどの工夫を行う事で、内容の忘れを防ぎ情報の共有がより行えるようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 6年 12月 2日 (15:00~16:00) 令和 6年 12月 9日 (15:00~16:00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー 中尾、濱田、廣井、棚田、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、武田、田中、本綱、中村、小俣、川本、坂本、栄田、原谷、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	5人	12人	3人		20人

前回の改善計画

・利用者の担当職員一人一人が中心となってケアマネや管理者、他職員と連携を密に取りながら、ケアについての的確な情報発信を行う事でより良いケアに繋げていく。
・担当職員が中心となってケアを行うようにしているが、時々、他職員が自分の考えで行動してしまい統一したケアができなかったり、その事を担当職員が知らないという事がある。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	2人	12人	5人	1人	20人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2人	12人	5人	1人	20人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができますか？	2人	12人	5人	1人	20人
④ 実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	3人	14人	3人	人	20人

できている点

- ・担当職員を中心に利用者のケアを考えて実行している。

できていない点

- ・利用者の思いを理解していない、把握できていないことがある。  
ケアプランがあって、目標がありその為のケアをどうするか、職員が理解できていない事がる。

次回までの具体的な改善計画

- ・各利用者の担当職員がケアプランの把握をしっかりする事で、目標を理解しより良いケアを行うことができるので、利用者とのコミュニケーションを取りながら、必要なサービスを理解し他職員に伝達していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 2日 (15:00~16:00) 令和 6年 12月 9日 (15:00~16:00)
------------------	-----	--

3. 日常生活の支援	メンバー	中尾、濱田、廣井、棚田、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、武田、田中、本綱、中村、小俣、川本、坂本、栄田、原谷、今井
------------	------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	12人	5人	2人	20人

前回の改善計画
・日々の生活支援の中で利用者からの様々な情報を得る事は出来ているが、その内容を職員全体に周知する場がない。「私の姿と気持ちシート」の記入を前年から取り組んでいるが活用できるまでに至っていない為、引き続きノートの記入を継続して行き情報共有に役立てていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・「私の姿と気持ちシート」の活用を試みたが職員間で活用することはできなかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	1人	13人	5人	1人	20人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができますか？	4人	13人	3人		20人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できますか？	2人	12人	6人		20人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3人	14人	3人		20人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時に支援できますか？	3人	15人	2人		20人

できている点
・申し送りやミーティングなどで利用者の体調の変化やADLの把握など、情報共有は出来ている。

できていない点
・利用者の生活スタイルについて知らないことが多い。また、「私の姿と気持ちシート」は全く活用されていない。

次回までの具体的な改善計画
・今後は「私の姿と気持ちシート」の活用は行わず、利用者やご家族とのコミュニケーションの中で得た貴重な情報を基に、担当職員が中心となってカンファレンスやミーティングなどの場で情報を共有していくことでサービスの向上に務める。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 6年 12月 2日 (15:00~16:00) 令和 6年 12月 9日 (15:00~16:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー 中尾、濱田、廣井、棚田、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、武田、田中、本綱、中村、小俣、川本、坂本、栄田、原谷、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？	3人	15人	2人		20人

前回の改善計画

- コロナやインフルエンザなどの感染対策は引き続き行いながら、ご利用者様と家族・地域との関わりを深める場を提供していくと共に、施設という枠組みを超えて「普通の生活」により近づける支援を心掛ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

- コロナが5類になった事で、外出や地域イベント等への参加がつらくなってしまった。また、利用者やご家族の思いを汲み取りながら個別支援を行うことで利用者に生活の中での生きがいを見つけて頂けるケアにも取り組めている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	4人	12人	4人		20人
② 本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	4人	15人	1人		20人
③ 事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	3人	14人	3人		20人
④ 本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	3人	11人	6人		20人

できている点

- ご家族への施設での生活の近況報告や一緒に行事参加をして頂いて交流を図れている。  
また、外出支援などで地域社会との交流も行えるようになってきた。

できていない点

- 地域との関りが薄い。できていない。

次回までの具体的な改善計画

- 感染対策を引き続き行いながら、利用者が施設の中だけでの生活にならないよう、地域のイベントなどに積極的に参加したり、個別支援での外出に取り組むことで利用者の充実した生活支援に繋げていきたい。

や

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 6年 12月 2日 (15:00~16:00) 令和 6年 12月 9日 (15:00~16:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー 中尾、濱田、廣井、棚田、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、武田、田中、本綱、中村、小俣、川本、坂本、栄田、原谷、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	16人	1人		20人

前回の改善計画

- ・有料入居者の方の「通い」は充実してきているが、今以上に回数等、個々のニーズに適した支援を提供していく事で生活の満足度を高めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・通い時のレクリエーションの内容の充実を図ることで、利用者に参加したいという意欲を持ってもらい楽しんでもらっている。また、状況に合わせて通いの参加を行う事も出来ている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	3人	14人	3人		20人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3人	16人	1人		20人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	6人	13人	1人		20人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができますか？	6人	13人	1人		20人

できている点

- ・利用者のニーズに合わせたサービスを行っている。  
訪問歯科やボランティア、地域の夏祭りへの参加など、地域との関りを持てている。

できていない点

- ・地域との関りに制限があったり、利用者によっては他者との関りを好まない方もいてコミュニケーションを取りることが難しい場合がある。

次回までの具体的な改善計画

- ・利用者の思いに配慮したケアを志しながら、施設として「通い」や「入浴」などの柔軟な支援を行う。  
また、外部（保育園児の慰問や訪問歯科、散髪、ボランティア）などを積極的に活用する事で地域社会との繋がりを強化する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 6年 12月 2日 (15:00~16:00) 令和 6年 12月 9日 (15:00~16:00)
6. 連携・協働	メンバー 中尾、濱田、廣井、棚田、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、武田、田中、本綱、中村、小俣、川本、坂本、栄田、原谷、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	はくんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか？		17人	2人	1人	20人

前回の改善計画
・コロナが5類に移行した事で、感染対策の緩和は行われてきているが、感染状況はまだまだ注視していく必要がある為、感染対策は引き続きしっかりと行いながら、地域活動に積極的に参加し地域の中の事業所として溶け込めるよう目指して行く。
前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	はくんどできていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	3人	16人		1人	20人
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2人	14人	3人	1人	20人
③ 地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3人	13人	3人	1人	20人
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1人	9人	9人	1人	20人

できている点
・担当者会議や運営推進会議の開催を定期的に行っている。 利用者と共に、子ども食堂や地域の夏祭りへの参加を行っている。

できていない点
・子供が事業所を訪問する事がなかった。 地域のイベント等に参加できた利用者が限られていた。

次回までの具体的な改善計画
・地域のイベントに積極的に参加したり、保育園児の慰問や施設内見学の開催を行う事で施設に地域の方を招待したり、感染対策を引き続き行いながら地域の中心としての役割が果たせる施設を目指していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6年 12月 2日 (15:00~16:00) 令和 6年 12月 9日 (15:00~16:00)
------------------	-----	--

7. 運営	メンバー	中尾、濱田、廣井、棚田、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、武田、田中、本綱、中村、小俣、川本、坂本、栄田、原谷、今井
-------	------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていな い	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	2人	15人	2人	1人	20人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者家族や地域の住民からの貴重な情報を基に、利用者や職員が地域でのイベント等に積極的に参加し地域との関わりを深めていく。</li> </ul>

  

前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>マルシェや「夏祭り」など利用者が参加できるイベントには参加できたが、職員が参加する地域のイベント（清掃や町内行事のお手伝い）などには参加する事ができなかった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていな い	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	3人	11人	5人	1人	20人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3人	15人	1人	1人	20人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3人	13人	3人	1人	20人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	3人	8人	8人	1人	20人

できている点
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域のイベントに参加できている。 ミーティングなどで職員の意見を反映させ運営に繋げている。くるみの家のパンフレットを回観板で配布し、見学会を行った。</li> </ul>

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> <li>横野海岸清掃等の地域活動に参加できなかった。</li> </ul>

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議やご家族からの貴重な情報や意見を参考に、職員間で話し合いながら利用者が安心・安全な生活ができる支援を行っていくと共に、地域の中の施設として多種多様な地域との関りを持っていく。</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 6年 12月 2日 (15:00～16:00) 令和 6年 12月 9日 (15:00～16:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー 中尾、濱田、廣井、棚田、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、武田、田中、本綱、中村、小俣、川本、坂本、栄田、原谷、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	はからずできていない	合計（総人数）
① 前回の課題について取り組みましたか？	3人	15人	2人		20人

前回の改善計画

- 外部研修で得た知識を職場に持ち帰り、職員全体に周知する事で施設の質を向上できるように取り組んでいくと共に、職員一人一人のスキルアップを目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 外部研修に参加する職員は増えてきたが、まだまだ全体的に参加人数が少ない。また、折角得た知識を施設内で共有できていない事は、より良い施設を目指す上での課題である。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	はからずできていない	合計（総人数）
① 研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	6人	12人	2人		20人
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	5人	10人	5人		20人
③ 地域連絡会に参加していますか	4人	8人	7人	1人	20人
④ リスクマネジメントに取組んでいますか	3人	14人	3人		20人

できている点

- 研修に参加できている。  
認知症実践者リーダー研修など資格習得の研修にも参加できている。

できていない点

- 外部研修に参加できていない。または、職員によって研修参加率の差がある。  
外部研修で得た知識を職場で伝達できていない。

次回までの具体的な改善計画

- 外部研修の参加を促していく事で、職員間の研修参加率の格差軽減に努め、外部研修に参加した職員が研修内容を他職員に伝達できる場を設けて、施設全体の質の向上を目指す。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日 令和 6年 12月 2日 (15:00~16:00) 令和 6年 12月 9日 (15:00~16:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー 中尾、濱田、廣井、棚田、長富、能美、諏訪、河村、上野、山本、武田、田中、本綱、中村、小俣、川本、坂本、栄田、原谷、今井

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	はくべこできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3人	14人	3人		20人

前回の改善計画

- 更なる「認知症」についての理解を深めつつ、不適切な言動に対して職員同士が注意し合える職場環境を整えていく事で、利用者が安心して暮らせるより良い施設を目指す。

前回の改善計画に対する取組み結果

- 不適切な言動は減ってきたと思われるが、利用者が安心して暮らせる場を提供するには0を目指さないといけない。そのためには、職員が研修などに積極的に参加し認知症についての理解を深める必要がある。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	はくべこできていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7人	12人	1人		20人
②	虐待は行われていない	10人	10人			20人
③	プライバシーが守られている	6人	13人	1人		20人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4人	10人	5人	1人	20人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5人	15人			20人

できている点

- 身体拘束や虐待についての勉強会を定期的に開催している。  
身体拘束については、週1回、改善に向けての話し合いを行っている。

できていない点

- スピーチロックなど不適切な声掛けをしている時がある。耳にする。  
個人のファイルをテーブルの上に置いて席を離れたりする事で、個人情報が他者に見える環境のときがある。

次回までの具体的な改善計画

- 職員全員が研修や勉強会への参加により認知症についての理解を深めつつ、実際により良いケアに繋げられるようにスキルアップしていく中で、職員間での指摘もわだかまりなく行える施設を目指していく。